

(ロボット支援腹腔鏡下手術)

当科のダヴィンチ手術の現状

～ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術を開始しました～

泌尿器科医長 増井 仁彦

当科の特徴の一つとして、2005 年以降腹腔鏡手術の多いことが挙げられます。ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術は 2014 年 6 月より開始、今年 5 月までに 90 例施行しました。制がん性や術後尿禁制といった術後成績も良好で、これまで Clavien-Dindo 分類 Grade III 以上の合併症も経験していません。また、2015 年 5 月より「ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術」も開始し、これまでに 5 例施行しましたが、前立腺全摘除術同様合併症もなく経過良好です。

ダヴィンチ手術(ロボット支援腹腔鏡下手術)のメリットとして、①体内に挿入するロボットの「手」が多関節であること、②術者は 3D 立体画像モニター下に手術を行えること、③手ぶれ防止機構がついていること、が挙げられます。このため、非ダヴィンチ手術に比して「非常に繊細な操作が正確に可能」となり、出血や組織損傷が少なく周術期合併症の軽減が期待できます。我々としては今まで非ダヴィンチ手術で多数経験してきた術式がダヴィンチ手術に移行することになり、患者様にとってもダヴィンチ手術を受けていただくメリットが大きいと考えています。

前述のロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術ですが、近年 4cm 以下の小径腎がんに対する腎部分切除術は腎機能保持において有用であり、さらに制がん性においても全摘除術と同等であることが示され、当院でも以前より非ダヴィンチ腹腔鏡手術で行ってきました。ダヴィンチ手術で行うことで 3D 立体画像を見ながら多関節鉗子を

ダヴィンチ手術の角!

複雑・繊細な手術操作が正確に可能となり、手術を受ける患者様の治療満足度がさらに上昇!



泌尿器科医師チーム、
左から 小山・増井・七里(診療部長)・濱田・八田原



ダヴィンチを使用した手術

駆使して自由な角度で切除縫合が可能となり、部分切除の際の一時的な腎血流遮断時間や部分切除後の腎実質縫合も短時間でできるメリットがあると考えます。特に、非ダヴィンチ手術で難易度の高かった「腎門部・上極付近の腫瘍」「埋没型の腫瘍」においても、小径腎がんではダヴィンチ手術の適応と判断される症例に対しては積極的に行っていきたくて考えております。

現在泌尿器科常勤医師は 5 名で、うち 3 名がダヴィンチ手術の術者資格を有しており、質の高いダヴィンチ手術を遂行できるよう学会や研修も含めて積極的に活動しています。前立腺がんや腎がんを含め、泌尿器科の病気で心配な患者様は気軽にご相談ください。これまでも開業の先生方から多数の患者様を紹介いただいておりますので、今後も御理解をいただけました先生方から対象となる患者様のさらなるご紹介をいただければ幸甚に存じます。

新任のご挨拶

地域医療連携室 主幹 石原 育子（看護師）

4月から地域医療連携室へ入退院センター（仮称）開設の準備のために配属となりました。どうぞよろしくお願い致します。

入退院センター開設の目的は、患者様の生活環境に配慮しながら、入院前の早期から退院に向けてきめ細かな支援を行うことです。

現在地域医療連携室では、入院予約のために訪れた患者様に対して、事務レベルで入院オリエンテーションと入院に必要な各種書類について説明しています。

入退院センター開設後は患者様に対して看護師が面談し、入院前に患者様が抱える身体的、精神的、社会的な不安や問題を把握していきます。そしてその情報を電子カルテ内に入力していきます。必要によっては院内の他職種と連携をとり、入院前から問題解決に取り組むことも可能と考えています。患者様が入院された後は病棟で看護師が入力された情報をもとに修正や追加を行い、看護計画をもとに看護を実践していきます。

私はこれまで脳神経内・外科、整形外科の病棟で勤務し、脳卒中、高齢者の骨折患者様の退院支援に関わらせていただいております。その経験を活かし、センター開設に取り組んでいき、将来的には入院から退院までを一貫して支援できるような体制を目指しています。入退院センターの機能が充実していくことで患者サービスの向上、そして医療の質の向上につながるものと思っています。



「看護の日」イベント

大津市民病院では、5月8日～14日の看護週間に合わせて1階ロビーで病棟や外来など各所属を紹介するポスターの展示をおこないました。

5月11日（水）9時～13時には、「血管年齢測定」、「アロマオイルを使用したハンドマッサージ」や「むせを予防する えん下体操・転倒予防に効果的な転倒予防体操」、「AEDの使い方」のビデオを見た後に実際に触れていただく体験などを企画いたしました。また認知症やがんに関する質問に認定看護師や専門看護師が個別に対応いたしました。



「血管年齢測定」や「アロマオイルを使用したハンドマッサージ」では、終了時間が過ぎても参加者の列が途切れることなく大盛況でした。

当日は延べ440名の市民の皆様が参加して下さい、日頃からの看護に対する市民の皆様の興味や関心の高さを実感することができました。



看護の日は、毎年5月12日の国際ナースデーにちなみ日本で制定された記念日としての名称です。近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日に由来し「看護の日」と制定されました。



JICAの視察研修

5月26日（木）、大津市民病院では昨年度に引き続き、JICA（独立行政法人国際協力機構）の視察研修を受け入れました。これはJICAの「保健衛生管理受入事業」によるもので、日本の公衆衛生分野の取り組みを学び、各国に活用してもらうことが目的です。今回は計10カ国、15人の研修員の方が本院を視察されました。

へリポート、8B病棟、手術室（内視鏡手術支援ロボット『ダ・ヴィンチ』）、ICU、外来フロア、臨床検査部、ERおおつ、内視鏡センター、放射線治療棟（リニアック）をご案内しました。

特に当院の病院マネジメントや医療テクノロジーに非常に興味を持たれ、活発な質疑応答がありました。今回の視察が、研修員の方々の母国における医療発展の一助となれば幸いと考えています。



NST勉強会のお知らせ 筆記用具・電卓をご持参ください

日時：6月23日（木）17時30分～19時00分
場所：大津市民病院 9階大会議室
受講料：無料
テーマ：「客観的栄養評価（ODA）と栄養必要量の算出」
講師：精神・心療内科診療部長 前林 佳朗 医師
※ お問い合わせは栄養部 西田まで TEL:077-522-4607（代表）

診療所訪問に伺います！

今年も7月頃より順にご挨拶にお伺いいたします。先生方には大変お忙しい中お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。



平成 28 年度

大津市民病院大学 健康講座



第 1 回 6 月 24 日 (金)
下肢静脈瘤の症状と治療について
講師：藤原 克次 (心臓血管外科医長)



第 2 回 7 月 28 日 (木)
訪問看護の実際
講師：和田 幸子 (訪問看護認定看護師)



第 3 回 9 月 9 日 (金)
**タバコフリーでストレスフリーな社会にしませんか
～今なぜ禁煙がブームなのか～**
講師：金山 美保 (日本禁煙学会認定専門看護師)



第 4 回 9 月 29 日 (木)
腰痛・肩こり・膝の痛みの予防運動について
講師：大橋 潤一 (リハビリテーション部理学療法士)



第 5 回 10 月 20 日 (木)
手術できない肺がんに対する治療について
講師：平沼 修 (呼吸器内科診療部長)



第 6 回 11 月 15 日 (火)
めまい・難聴など耳の話
講師：佐藤 尚志 (耳鼻咽喉科診療部長)



第 7 回 12 月 6 日 (火)
心臓病予防のための食生活について
講師：木原 晴美 (栄養部管理栄養士)

会 場：大津市民病院 9 階大会議室

定 員：各先着 65 人

時 間：14 時～15 時

受講料：無 料

●● お申し込み・お問い合わせ ●●

各開催日の当日までに、電話または直接
大津市民病院 2 階 **地域医療連携室** まで

TEL：077-526-8192 (平日 13 時～17 時)

当日受付も可能ですが資料の準備の都合上、出来るだけご予約をお願いします

